

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	耐衝撃性能の評価小委員会		主 査 名：橋 英三郎 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：竹脇 出
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>重要構造物への飛来物による衝突・衝撃問題やガスや火薬などによる爆発時の挙動の解明を行い、耐衝突、耐衝撃、耐爆の性能評価に関するガイドラインを提案する。本小委員会設置申請時における各年度活動計画は以下の通り。</p> <p>2008年度：国の内外における関連規基準の整理。各種事例のシミュレーション等による検証。シンポジウム開催</p> <p>2009年度：耐衝突、耐衝撃、耐爆の性能評価ガイドライン作成（第1素案）、大会において PD の開催</p> <p>2010年度：第1素案の再検討、同（第2素案）の作成</p> <p>2011年度：第2素案の再検討、同（第3素案）の作成、シンポジウムの開催</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：橋英三郎（大阪大学） 幹事：片山雅英（伊藤忠テクノソリューションズ） 委員：野中泰二郎（京大名誉教授）、向井洋一（奈良女子大学）、櫛部淳道（竹中工務店） 世戸憲治（北海学園大学）、中山昭夫（福山大学）、西田明美（日本原子力研究開発機構）、加藤政利（五洋建設）、坪田張二（鹿島建設）、上林厚志（竹中工務店）、濱本卓司（武蔵工業大学）、河西良幸（前橋工科大学）、岡本達雄（竹中工務店）、山野辺宏治（清水建設）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物（シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 関連規基準の整理 70%</p> <p>2. 事例検証 70%</p> <p>3. シンポジウム 100%</p> <p>International Symposium on Structures under Earthquake, Impact, and Blast Loading (IB'08)に協力した。(企画および実行委員として委員多数が参画)</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 企業・大学・官公庁 いずれも出張の規制が厳しくなりつつある。